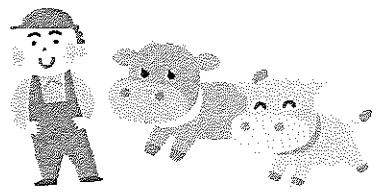


# 見て感じて♡食べてみよう! ~生産者さんを紹介しよう~



島根県では、6月11日を「しまねふるさと給食月間」と定め、地元産の食材を特にたくさん取り入れた給食の提供や、食育の取り組みを行っています。今回は、たくさんの益田産食材の中から、17日(木)の「益田ぎゅうぎゅう丼」に使用する牛肉の生産をしておられる「松永牧場」の松永和平さん(代表取締役)、松永拓磨さん(取締役)に色々なお話を聞かせていただいたので紹介します!!



☆松永牧場には、子牛も含めて、約7700頭の牛がいるよ!  
 ☆病気にならぬように、健康管理にはすごく気をつけてもらっているよ! 獣医さんにも毎日体調チェックをしてもらうよ!  
 ☆31名のスタッフの方が、エサやり、そり、子牛のミルクやり等、色々なお仕事をしておられるよ!

♪♪数々の賞を受賞しておられます♪♪

東京で開催される肉質を競う大会で、最優秀賞や名誉賞等を受賞されています。地元益田はもちろんだ、東京、神奈川、横浜等、色々は所々、松永牧場さんの牛肉が食べられています!

## インタビュー

Q.大切にしておられることは何ですか?

A. 生き物を相手にする立場なので、牛のことをとても大事にしてお世話をしています。また、環境にやさしい畜産を行っています。

1日50枚!

エサには、捨てられてしまう果物や野菜の絞りかすやおから、酒粕等、を独自に配合したものを混ぜています。栄養満点で、全て国産の木材から作ります。また、牛の糞は、たい肥とより、ホムセンタ等へ行って、農作物を作る時の栄養になります。

Q. 嬉しいことは何ですか?

A. 事故なく、元気に子牛が産まれる時に嬉しく、また、賞を受賞した時、そして、「おいしい」と言ってもらえた時が嬉しいです。

## 給食を食べるみなさんへメッセージ

みんな愛情をかけて、一生懸命牛さんのお世話をしています。安全、安心、おいしい牛肉なので、お腹いっぱい食べてくださいね!



松永拓磨さん